

3/13 地域教育支援旭志ネットワーク会議が大臣賞受賞

旭志小学校（吉田栄二校長）を中心に、地域教育を支援し地域と学校が一体となって子どもの健全な育成を図る「地域教育支援旭志ネットワーク会議」が、文部科学大臣賞を受賞しました。「早寝早起き朝ごはん運動」をはじめ、「家族の日チャレンジカード」などの優れた取り組みが評価されたものです。同会議コーディネーターの大賀朋子さんは「今後も地域と家庭のつながりを深め、子どもを見守っていきたい」と話しました。



賞状を手にする大賀さん、倉原教育長、吉田校長

3/3 元気ハツラツ! 老人クラブ芸能大会

第8回老人クラブ芸能大会は、菊池市文化会館で開催され、市内の老人クラブ43団体から約250人が参加しました。今年例年に比べ男性の参加者が増え、ステージでは日頃の練習の成果を十分発揮し元気いっぱい踊りや歌などを披露しました。最後に37人の実行委員全員で「故郷」を合唱。観客も一緒に歌い始めると、会場は一体感に包まれながら大会のフィナーレを迎えました。



「チャンチキおけさ」に合わせて踊りを披露する参加者

3/15 泗水中学生3人が国際・全国・九州大会出場

泗水中の3人が、大会出場の報告のため市役所を表敬訪問しました。大会と選手は以下のとおりです。
第44回シンガポールエージーグループ選手権大会
 神崎百恵さん（2年）400m個人メドレーほか
第35回ジュニアオリンピック水泳競技大会
 西口 奏さん（2年）・神崎百恵さん（2年）400mメドレーリレーほか
九州地区中学校選抜ソフトテニス選手権大会
 荒木 瞭さん（1年）団体戦ダブルス



左から西口さん、神崎さん、荒木さん。3人は、「緊張すると思うけど楽しみながら頑張りたい」と抱負を述べました

3/14 「七城のこめ」が5年連続7回目の特A受賞

日本穀物検定協会が行う2012年産米の食味ランキングで、熊本県城北地区代表として出品された「七城のこめ」が最高評価である特Aを受賞し、その報告祝賀会が熊本市のホテルで開催されました。「七城のこめ」は、平成20年度より環境に配慮した特別栽培米として生産され、2008年産から5年連続で7回目の特Aを受賞。今回も生産者の「安全・安心でおいしい米づくり」の成果が実った形となりました。



生産者と関係者の皆さん

市民の選択、ここに決まる!

菊池市長選挙

菊池市議会議員補欠選挙

任期満了に伴う菊池市長選挙が4月14日にあり、即日開票され江頭美さんが当選しました。選挙は4月7日に告示され、二ノ文伸元さん、北田彰さん、江頭美さんの3人（届出順）が立候補。7日間の選挙戦が繰り広げられました。同時に行われた菊池市議会議員補欠選挙（被選挙数2人）は、柘原賢一さん、荒木崇之さんが当選しました。投票は4月14日の午前7時から午後7時まで市内の25カ所の投票所であり、開票作業は午後8時30分から菊池市総合体育館メインアリーナでありました。投票率は市長選挙が65.22%、市議補欠選挙が65.21%でした。

各候補者の得票数は次のとおりです。（届出順・敬称略）

市長選挙
 (有効投票数 26,487、無効投票数 345)

二ノ文しんげん	3,579
北田あきら	8,373
江頭みのる	14,535

市議会議員補欠選挙
 (有効投票数 25,480、無効投票数 1,345)

かじわら賢一	8,136
荒木たかゆき	9,971
出口かずお	7,373

▼市長選投票所別開票率

投票所	選挙当日有権者数(人)			投票者総数(人)			投票率(%)		
	男	女	計	男	女	計	男	女	計
第1 勤労青少年ホーム	1,051	1,220	2,271	628	804	1,432	59.75	65.90	63.06
第2 ふれあい交流センター	700	793	1,493	498	569	1,067	71.14	71.75	71.47
第3 菊池市役所庁舎	1,846	2,052	3,898	1,111	1,352	2,463	60.18	65.89	63.19
第4 文化会館小ホール	1,245	1,566	2,811	795	986	1,781	63.86	62.96	63.36
第5 河原小学校体育館	579	669	1,248	400	474	874	69.08	70.85	70.03
第6 水源支館	481	487	968	294	301	595	61.12	61.81	61.47
第7 水迫里山の家	283	294	577	179	178	357	63.25	60.54	61.87
第8 龍門小学校体育館	385	415	800	283	300	583	73.51	72.29	72.88
第9 迫間支館	561	623	1,184	406	433	839	72.37	69.50	70.86
第10 西部市民センター	1,249	1,309	2,558	724	790	1,514	57.97	60.35	59.19
第11 花房小学校体育館	748	830	1,578	483	565	1,048	64.57	68.07	66.41
第12 戸崎支館	639	792	1,431	437	532	969	68.39	67.17	67.71
第13 七城老人福祉センター	476	522	998	340	350	690	71.43	67.05	69.14
第14 七城公民館	606	681	1,287	413	474	887	68.15	69.60	68.92
第15 七城体育館	557	653	1,210	390	454	844	70.02	69.53	69.75
第16 リバーサイドパーク	474	534	1,008	328	370	698	69.20	69.29	69.25
第17 岩本公民館	466	486	952	344	354	698	73.82	72.84	73.32
第18 高柳集落センター	404	458	862	274	306	580	67.82	66.81	67.29
第19 旭志小学校体育館	546	611	1,157	359	393	752	65.75	64.32	65.00
第20 川辺コミュニティセンター	516	547	1,063	341	349	690	66.09	63.80	64.91
第21 泗水総合支所	1,518	1,733	3,251	1,065	1,242	2,307	70.16	71.67	70.96
第22 泗水東小学校体育館	922	1,004	1,926	601	669	1,270	65.18	66.63	65.94
第23 泗水西小学校体育館	697	783	1,480	547	619	1,166	78.48	79.05	78.78
第24 泗水B&G海洋センター体育館	1,498	1,676	3,174	788	944	1,732	52.60	56.32	54.57
第25 泗水第2体育館	961	994	1,955	470	527	997	48.91	53.02	51.00
合計	19,408	21,732	41,140	12,498	14,335	26,833	64.40	65.96	65.22



4/5 きくちジュニアソフトボールクラブが九州大会で初優勝

第23回全九州小学生選抜女子ソフトボール大会は鹿児島県で開催され、きくちジュニアソフトボールクラブ(吉田隆史監督)が初優勝を飾りました。本クラブは市内の各小学校女子児童を対象としたクラブチームで現在12人が在籍。創立5年目で念願の優勝を勝ち取りました。報告のため市役所を表敬訪問した本クラブキャプテンの足立己妃奈さんは、「一人一人が打ったり走ったりして頑張った。優勝できてうれしい」と笑顔を見せました。



見事初優勝を果たしたきくちジュニアソフトボールクラブの皆さんと福村前市長

4/8 友達たくさんつくります 菊池北小学校開校式

迫水小・水源小・龍門小の3校を統合した菊池北小学校(宇野達也校長)で開校式があり、旧3小の児童を歓迎しました。

式では宇野校長が「今日からみんな菊池北小学校の児童となります。みんなで新しい小学校をつくっていきましょう」とあいさつ。旧小学校の代表児童は「今は不安な気持ちと楽しみな気持ちが入り混じっていますが、たくさん友達をつくって勉強にスポーツに頑張りたいです」と述べました。



旧3小学校の児童たちがお互いにあいさつしました

3/29 災害に強いまちへ 給水車を購入しました!

田村幸治さん・カシコさん(栄町)ご夫妻からいただいた寄付金(1千万円 平成19年10月寄付)で給水車を購入しました。この給水車は1600リットル(約800人分)の水を運搬・供給することが可能。給水車に親しみを持ってもらおうと、車両の後部には県マスコット「くまモン」のイラストをあしらいました。断水時の給水はもちろん、災害に強いまちづくりを含め、幅広い分野で活用させていただきます。ご寄付ありがとうございました。



左から福村三男前市長、ご寄付いただいた田村さん夫妻、購入した給水車

4/5 なくそう交通事故 春の交通安全運動出発式

4月6日から15日までの「春の全国交通安全運動」に伴い、春の全国交通安全運動出発式が菊池市民広場で行われました。当日は天候に恵まれ、交通安全関係団体など多数の人が参加。菊池幼稚園の園児たちが「道路は右左の安全を確かめて渡ります。信号を必ず守り、飛び出しは絶対にしません」と元気な声で交通安全の誓いの言葉を述べると、周りからたくさんの拍手が上がりました。その後、市街地でパトカーによる街頭パレードを行いました。



福村前市長に出発申告をする菊池警察署の西英昭交通課長

3/22 NPO法人きらり水源村が 食の架け橋賞表彰

NHKと全国農業協同組合中央会が主催する「日本農業賞」の授賞式がNHK熊本放送で行われ、きらり水源村が「食の架け橋賞 審査委員特別賞」を受賞しました。この賞は、未来の豊かな生き方への架け橋となる食や農に関わる活動を表彰するものです。きらり水源村は、地域住民が主体となりNPOを運営。閉校となった中学校跡地を活用しながら、農業体験や新規就農支援などが集まる取り組みを積極的に行っている点が評価されました。



受賞したNPO法人きらり水源村の皆さんと関係者の皆さん

3/25 菊池の特産品をPR 県北3市合同物産商談会

菊池市・山鹿市・玉名市の3市合同による物産商談会が市内のホテルでありました。これは、県北3市が一体となり産地の知名度アップや販路拡大を目的とし開催したものです。

会場には加工業者や物産館など34業者がブースを並べ、米、肉、メロン、トマトや加工品などさまざまな特産品を出展。ホテルや百貨店、飲食店など全国から訪れた約50業者のバイヤーと情報交換しながら地元の特産品を売り込みました。



地元の特産品をPRする菊池市の出展者

3/22 菊池市食生活改善推進員協議会が県知事表彰

菊池市食生活改善推進員協議会(青木 満会長・会員176人)が、健康づくり功労団体知事表彰を受賞しました。この賞は、健康づくりの普及向上などに功労があり、県民の模範となる優良団体に対して授与されるものです。本協議会は、食の視点から健康改善に向けてさまざまな活動を子どもから高齢者まで幅広い年代を対象に実施してきました。その長年の自己啓発・行動力の功績が評価されました。受賞おめでとうございます。



青木会長(左から2人目)と各地区長の皆さん

3/24 市民による桜の里づくり 記念講演

来年本市で開催される第35回全国さくらシンポジウムのイベントが菊池公園と菊池市文化会館で開催されました。午前中は公園で清掃活動と記念植樹を実施。午後からの記念講演では、樹木医の今村能子さんが「先祖から受け継がれてきた桜の里を子孫に残していきましょう」と講話。続いてテレビアナウンサーの本橋馨さんが講演に立つと、アナウンサーの裏話や番組に寄せられた面白いエピソードなどを話して会場を盛り上げました。



1. 樹木医の今村さん 2. テレビアナウンサー本橋さんの講話 3. ユーモアたっぷりの話に笑顔を見せる来場者

■2月26日
大琳寺で信号機点灯式

大琳寺の市道で押しボタン式信号機の点灯式があり、菊池警察署員や地域住民など約30人が参加しました。現場は交通量が多く、過去に横断中の死亡事故も発生しており地元地区が10年前から要望。念願の信号機設置に住民からは喜びの声が上がりました。



信号機が青に点灯し一斉に渡る参加者の皆さん

■3月27日
肥後で認知症サポーター養成講座

肥後銀行で認知症サポーター養成講座が開催されました。窓口のサービス向上と認知症に対する認識と理解を深めるために肥後銀行が市に出前講座を依頼。行員の今坂佳さんは「声掛けや相談などを行い、市役所とも連携して対応していきたい」と話しました。



講座を熱心に受講する肥後銀行の皆さん

■4月15日
KCG30が菊池農校で防犯活動

菊池農業高校のKCG30（市内女子高生30人のグループ）のメンバー9人が、学校正門で菊池警察署員と一緒に防犯活動を行いました。活動は毎年実施し今年で3年目。登校してくる生徒たちに笑顔であいさつしながら、交通安全のピラやグッズを配りました。



登校してくる生徒にピラやグッズを手渡すKCG30の皆さん

■3月24日
「ようこそ達人」菊池北中で料理教室

地域のプロの料理人に学ぶ授業が菊池北中であり、1年生72人が達人の手ほどきを受けました。初めてアジの3枚おろしに挑戦した笹原白香里さんは「ぜいご（とげ状のうろこ）を取るとき身も一緒に取れて難しかった。また挑戦したい」と笑顔を見せました。



達人にアジのおろしかたを学ぶ生徒たち

■3月22日
ワカサギ卵のふ化箱を設置

菊池川漁協（富田正剛組合長）が、竜門ダム湖畔にワカサギの卵（約700万粒）が入ったふ化箱を設置しました。卵は約2週間程度でふ化し、成長します。設置した組合員は「釣りに来られた人はあたたかく見守ってほしい」と話していました。



ふ化箱を設置する組合員

■4月7日
平成25年度菊池市消防団入団式

菊池市総合体育館で行われ、133人の新消防団員が誕生しました。式典では岩木憲文団長が「自らの郷土は自らで守るという使命を持って訓練に励み、地域で活躍してほしい」と訓示。式典後、規律訓練や小型ポンプの使用方法などを学びました。



岩木団長から辞令を受け取る新入団員

■3月17日
水源交流館「だんごサミット」

水源交流館で世代間交流と郷土料理の伝承などを目的に開催され、地域住民など約100人が参加。だんご汁や竹細工のストラップ作りなどで交流しました。地域住民代表の福田勝久さんは「水源小がなくなってもイベントは続けたい」と語りました。



完成した竹細工のストラップを手に笑顔を見せる子どもたち

■3月21日
菊池南中「英語チャレンジ」表彰式

菊池南中で「くまモン英語チャレンジ」の表彰式があり、県マスコット「くまモン」が受賞者代表8人に表彰状を授与しました。これは、人気マスコットの「くまモン」が直接生徒を表彰することで、さらに英語への興味・関心を高めたいと県が行っています。



受賞生徒に賞状を授与する「くまモン」

■4月6日
タケノコ採れた!太田区竹林祭

太田区で竹林祭がありました。これは区のむらおこしの一環として毎年開催している祭りです。当日はあいにくの雨となりましたが、参加者は雨がっぱを着ながらタケノコ堀に挑戦。採れたタケノコを手に「酢味噌や煮しめにして食べたい」と話していました。



タケノコを手に笑顔を見せる参加者⑥と竹林管理者の黒谷光臣さん⑦

■3月7日
泗水小学校に琴が寄贈されました

熊本市在住(当時)の竹下八千子さんより、泗水小学校に琴が寄贈されました。今回の寄贈は、琴を託された友人の岸美智子さん(泗水町薬剤師)を通じて子どものためにと実現。宮川淳一校長は「音楽の授業に取り入れるなど学習に役立てたい」と感謝を述べました。



岸さん⑧、宮川校長(後列⑨)、山下いく子先生(後列⑩)と合唱部の児童たち

■3月12日
隈府小学生がサクラソウを寄贈

隈府小6年生5人が市役所を訪れ、市にサクラソウを寄贈しました。同小では原田和幸校長先生が栽培を始めたことをきっかけに、市の施設を中心に配布。6年生の栽培委員が水やりなどの世話を続け、きれいに咲いた花を笑顔で添えて届けています。



福村前市長にサクラソウを手渡す児童たち

■3月17日
新輝塾が少年柔道大会で優勝

第19回都城武道館楠原道場少年柔道大会は宮崎県で開催され、181チームが参加。本市の新輝塾が1・2年生の部で優勝を飾りました。メンバーは次のとおりです。(敬称略) 先鋒 緒方友貴(泗水小2年) 中堅 伊藤志成(同) 大将 佐々晃太(七城小2年)



優勝した新輝塾の皆さん。左から緒方くん、伊藤くん、佐々くん、花堂武浩監督

■2月・3月
「菊池一族ゆかりの女性」講演会

菊池夢美術館でフリーライターの津留今朝寿さんによる「菊池一族ゆかりの女性(①ド・ローラ・セツコ②徳富愛子③愛加那(龍愛子))」講演会が3回に分けて行われました。参加者は3人の女性がどのように菊池の歴史に関わってきたのかを学びました。



菊池一族にゆかりのある女性についてユーモアを交えながら話す津留さん

■3月9日
ボランティア連絡協議会交流会

菊池市ボランティア連絡協議会(中島紘一会長・36団体8個人)交流会は、菊池市文化会館で開催され、市内で活動しているボランティアグループが一堂に会しました。今回は7団体が日頃の活動内容を披露。楽しみながらお互いの交流を深めました。



日頃の活動内容を披露する会員の皆さん

■3月16日・17日
第42回菊池郡市中学生新人野球大会

菊池ロータリークラブ協賛第42回菊池郡市中学生新人野球大会は、菊池公園多目的グラウンドで行われ、菊池郡市内の中学校12チーム(240人)が参加し、熱戦を繰り広げました。大会は菊陽中学校が優勝。泗水中学校が3位に入賞しました。



優勝した菊陽中学校野球部

■3月5日
春季火災予防週間に合同連結訓練

菊池公園多目的グラウンドで実施され、消防署と市消防団員約100人が参加しました。公園東側の築地井手から水を汲み上げ、菊池市総合体育館駐車場まで約1,000mにわたりホースを連結。本番さながらの訓練に、団員たちは真剣に取り組んでいました。



小型ポンプでホースを連結する消防団員

■3月9日
菊池北中卒業式で合唱と風船飛ばし

菊池北中で卒業式があり、校舎の中庭で卒業生の保護者による合唱と風船飛ばしがありました。合唱では保護者から子どもへの感謝を込めて「15の手紙」を熱唱。その後、大きく羽ばたいてほしいという思いを込めて生徒と一緒に空高く風船を飛ばしました。



風船を飛ばす卒業生

■3月12日
泗水中学校生が郷土料理に挑戦

泗水中2年生が、家庭科の授業で郷土料理を学習しました。生徒たちは熊本県食生活改善推進員連絡協議会の皆さんの指導の下、「いきなりだんご」作りに挑戦。調理した大家崇仁くんは「包丁を使って芋の皮をむくのが難しかった」と話しました。



最後はみんなでおいしく食べました

退職(失業)による特例免除制度をご存知ですか?

20歳以上60歳未満で退職(失業)したとき

厚生年金に加入していた人が20歳以上60歳未満で退職(失業)すると、国民年金の第1号被保険者となり月額15,040円の保険料を納めることになります。

一方、保険料を納めることが経済的に困難な人には、申請によって保険料の納付を免除される制度があります。免除制度を利用すると、保険料を納めなくても期間は次のように扱われます。

- ①老齢基礎年金・老齢厚生年金の受給資格期間の25年に算入されます。
- ②老齢基礎年金の2分の1または3分の1の年金額が保障されます。
- ③障害基礎年金・遺族基礎年金の受給資格期間に算入されます。

退職(失業)時の特例免除制度

免除申請する年度またはその前年度に退職(失業)した人は、特例免除制度を利用できます。この特例免除では、通常審査の対象となる本人の所得の状況を除外して審査が行われます。

ただし、配偶者や世帯主に一定以上の所得があるときは免除が認められないことがあります。

※退職には自己都合退職も含まれます。

申請方法

特例免除の申請には、市民課または総合支所市民税務係へ「国民年金保険料免除申請書」を提出(郵送可)する必要があります。申請書は、市民課または総合支所市民税務係および年金事務所(旧社会保険事務所)にあります。

手続きに必要なものは次のとおりです。

- ①年金手帳または納付書など基礎年金番号が分かるもの
- ②認め印(本人が署名する場合は不要)
- ③失業していることを確認できる公的機関の証明の写し(雇用保険受給資格者証、離職票など)

被扶養配偶者

厚生年金加入者の20歳以上60歳未満の被扶養配偶者は、配偶者の退職(失業)によって、国民年金の種別が第3号被保険者から第1号被保険者になり、保険料の納付義務が生じます。被扶養配偶者だった人も、配偶者が退職(失業)時の特例免除に該当すれば、同時に免除申請をすることによって、免除が認められることになっています。

なお、免除された期間については、10年以内に「追納」をして、老齢基礎年金の年金額を増やすこともできます。免除制度と追納制度の詳細については市民課または総合支所市民税務係、年金事務所にご相談ください。

問い合わせ先 熊本県国民年金基金 ☎096 (387) 2220

送りつけ商法

「はい!こちら菊池市消費生活センターです!」
平日午前10時~正午、午後1時~午後4時 商工観光課入り口 ☎0968(36)9450

今月は、全国的にも被害が増加している「送りつけ商法」についてお知らせします。

「送りつけ商法」とは、注文していない商品が消費者に送りつけられ、その代金を請求されるものです。主な例として、「以前お申し込みいただいた健康食品を今から送ります」などと突然電話があり、申し込んだ覚えがないと断ったのに、健康食品を強引に送られてくるというものです。また、その他書籍や雑誌、DVDなどさまざまな商品での報告があります。

この商法の問題点は、商品と一緒に振込用紙や請求書を同封して送りつけ、「〇月〇日までに指定の口座に代金を振り込んでください。購入する意思がないときは返送してください」といった、いかにも契約が成立したかのような態度で消費者を困惑させるところです。また、実際に商品の代金を支払うと購入に承諾したことになり、代金の返還を請求することができなくなります。

もしこのような事例にあった場合は、次のように対処してください。

▼代金は支払わない
身に覚えが無い商品が届き、「〇月〇日までに〇円支払うこと」など記載があったとしても、絶対に支払わないこと。

▼商品を受け取らない
代金引換などで商品が届いた場合、まずは「受け取らない」こと。

インターネットや通信販売などで実際に注文した商品がある場合は、家族に伝えておくことが重要です。

詳しくは消費生活センターにお問い合わせください。

消費生活センターでは、専門の相談員が常駐しています。相談は無料です。気軽に相談ください。



4/7 第58回熊日菊池桜マラソン大会

第58回熊日菊池桜マラソン大会が開催され、市内外から約2,100人のランナーが出場しました。大会は、ハーフ・10^{キロ}・5^{キロ}・3^{キロ}の4コース、18部門で実施。菊池地域振興局前をスタートし、各中継地点を折り返して菊池市民広場前のゴールを目指しました。ゴール会場では「なんでもよかもん市」を同時開催。市内の飲食店やフリーマーケットが軒を連ね、来場者は買い物や食事を楽しんでいました。各部門の優勝者は右表のとおりです。(敬称略)



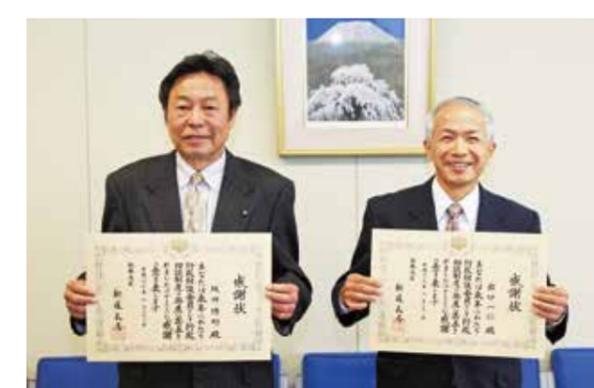
スタート直後の選手たち

コース	部門	氏名	記録
ハーフ	男子(40才未満)	古賀孝志	1時間11分37秒
	男子(40歳以上)	浦本秀志	1時間17分21秒
	女子の部	井上一美	1時間27分7秒
10 ^{キロ}	男子(40才未満)	梅田大輔	32分54秒
	男子(40歳以上)	白井征男	36分57秒
	女子の部	山賀 操	41分45秒
5 ^{キロ}	男子(40才未満)	久間章弘	16分40秒
	男子(40歳以上)	宮崎祐行	17分3秒
	女子(40歳未満)	松下美香	21分32秒
	女子(40歳以上)	渡邊由美	21分14秒
	中学生男子	徳永翔三	17分24秒
	中学生女子	中村世愛	19分25秒
3 ^{キロ}	男子(60歳以上)	林 範一	12分7秒
	女子(60歳以上)	堤 美智子	14分39秒
	小学生男子1年~3年	園村慧人	12分55秒
	小学生男子4年~6年	松本楓生	11分19秒
	小学生女子1年~3年	平田優月	13分39秒
	小学生女子4年~6年	藤村光紀	12分47秒

4/17 行政相談員の2人に 総務大臣感謝状

長年、行政相談委員を務められた出口一仁さん、坂井博明さんに総務大臣感謝状が贈られ、総務省熊本行政評価事務所の上村司所長より伝達されました。

出口さんは平成19年から6年間、坂井さんは平成21年から4年間、行政相談委員として、国や県、市などに対する苦情や要望の解決に尽力され、行政相談制度の発展に貢献されました。



左から坂井さん、出口さん

4/8 森林浴のシーズン到来 菊池溪谷山開き

満開を迎えた山桜が見守る中、菊池溪谷のシーズン到来を告げる山開きが行われ、関係者など約100人が出席し、シーズン中の安全を祈願しました。昨年は、約25万人の観光客が菊池溪谷を訪問。菊池溪谷を美しくする保護管理協議会の福村三男会長は「昨年の豪雨災害で甚大な被害を受け、観光客の皆さんには大変ご迷惑をおかけした。菊池溪谷は市にとって大切な財産。市民の皆さんと守り育てていきたい」とあいさつしました。



菊池溪谷の安全を祈願しておはらいが行われました